

わたしたちの中野区議会



↑本会議場の様子



くぎかい
区議会ってなあに？

みんなが住み続けたい、働き続けたいと思うような、よいまちにしていけるためには、そこに住む人みんなで考え、話し合うことが大切です。

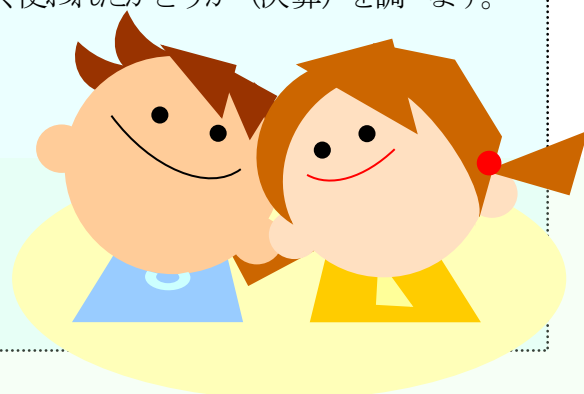
でも、中野区には約33万人の区民が住んでいるので、全員が集まって話し合うことはできません。そこで、区民の中から選挙によって代表者を選び、その人たちが話し合っているいろいろなことを決めています。この代表者を「区議会議員」といい、その区議会議員の集まりを「区議会」といいます。

区議会は、中野区民の暮らしが良くなるよう、いろいろな仕事をしています。

たとえば、

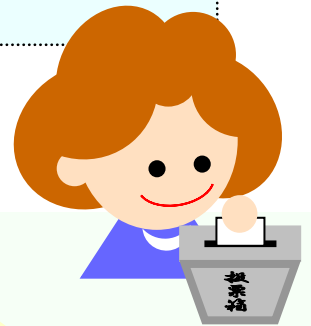
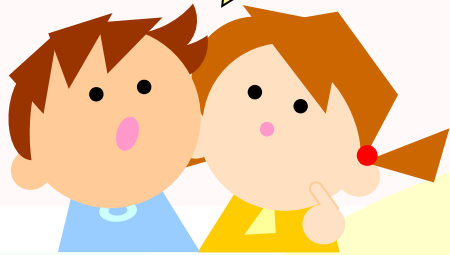
- 区のきまり（条例）をつくったり、変えたりすることを決めます。
- 区が仕事をするためのお金の使い方（予算）を決めたり、正しく使われたかどうか（決算）を調べます。
- 区の仕事が正しく行われているかどうかを調べます。
- 国や東京都に、「こうしてほしい」という意見を出します。
- 教育長など、区の重要な地位につく人を区長が決めるときに、意見を言います。

といった仕事をしています。



区議会議員は
どうやって選ぶの？

区議会議員も区長と同じように、中野区に住む18歳以上の人が選挙で投票して選びます。



区民
(ぼくたち・わたしたち)

選挙で選ぶ

選挙で選ぶ

意見や
希望を
伝える

区民の
ための
仕事をする

区民と
区議会と
区長の関係

区の仕事やお金の使い方を相談する

区の仕事やお金の使い方を
決める・チェックする
区民の意見や希望を伝える

区議会
(区民の代表)

区長
(区の代表)

中野区

区議会議員は
何人いるの？

中野区には、42人(定数)の区議会議員がいます。

区議会と
区長との関係は？

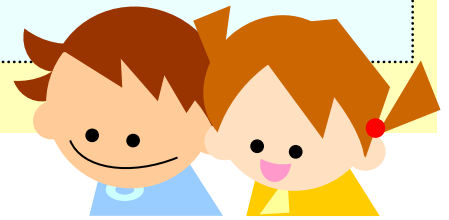
区議会で決められたことは、区長が責任をもって実行します。区議会も区長もお互いに意見を出し合って、中野区が良くなるために仕事をしています。

区議会のしくみ

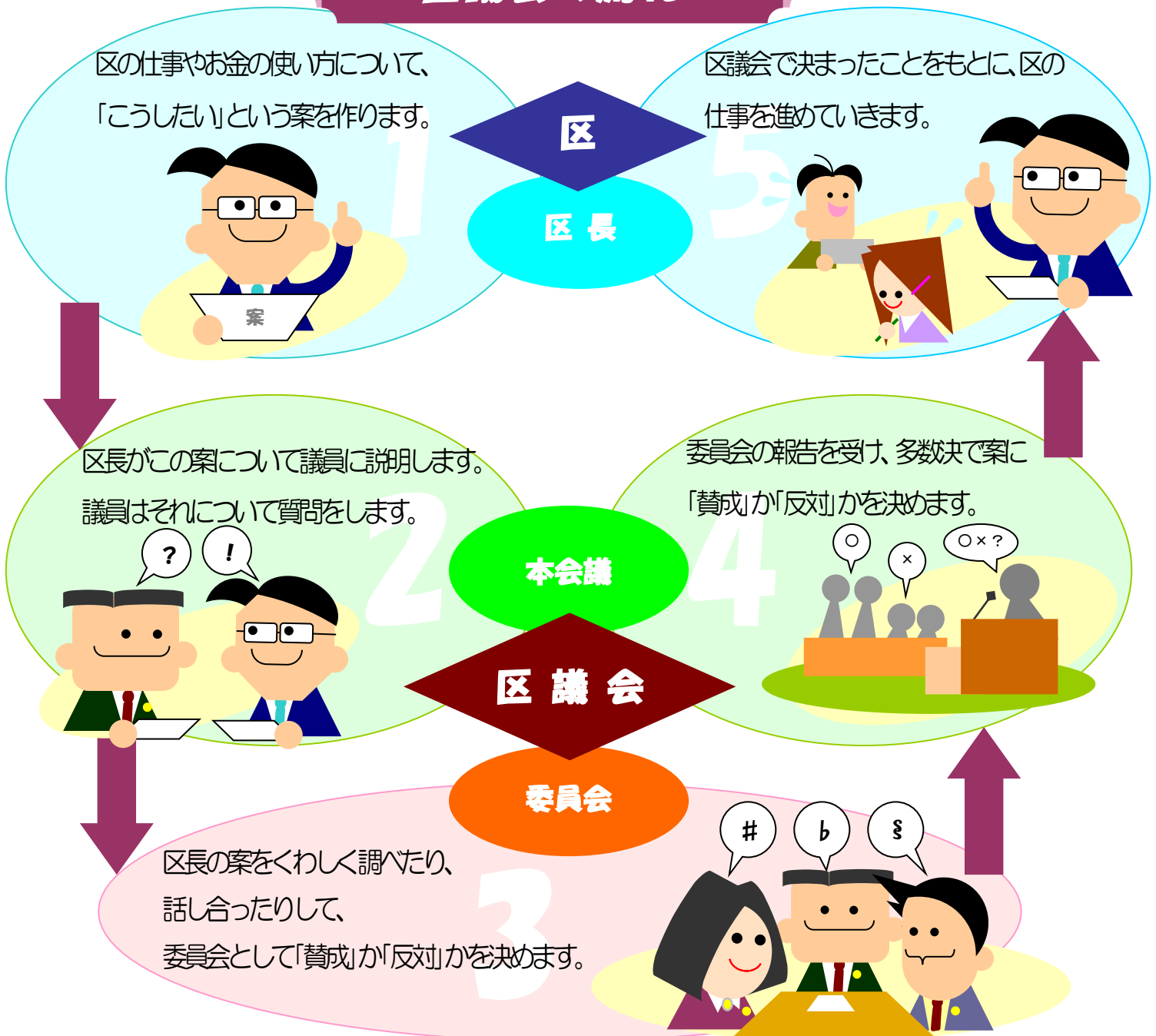
区議会はどのように進められるの？

区議会は毎年2月、6月、9月、11月の4回開かれます。これを「定例会」といい、1回の定例会では2週間から1か月かけていろいろなことを話し合い、決めていきます。42人の議員が本会議場に集まっておこなう会議を、「本会議」といいます。

区議会が決めることはたくさんあるので、本会議だけでは時間がかかってしまいます。そこで少ない人数のグループに分かれて、それぞれが分担し、くわしく調べたり話し合ったりしています。このグループを「委員会」といいます。委員会は、定例会が開かれていないときも開かれます。



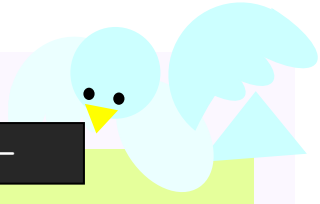
区議会の流れ



本会議場

本会議場の様子を教えて！

本会議場は、本会議を行うための場所です。座る席は、下の図のような配置になっています。



モニター

モニター

放送室

質問するとき、残り時間がどれくらいあるかをカウントダウンします。

理事長（区役所の人）

事務局長
議長

理事長（区役所の人）

教育長

演壇

区長

モニター

モニター

向かい合わせに座ります。

発言は、ここで
行います。

会議を進める人を「議長」といいます。議長は区議会の代表者でもあり、区議会議員の中から選挙で選ばれます。

出席しているときは、名札を立てます。
区議会議員（定数42人）

モニター

モニター

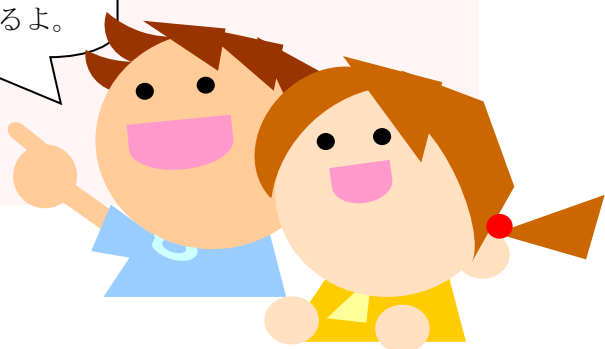
車いす席

傍聴席

親子席

区議会で話し合われることを知りたいときは？

傍聴席には親子で傍聴ができる親子席や、車いすの方のための車いす席があるよ。



申し込むと、本会議場の後ろの席で見学することができます。これを「傍聴」といいます。
本会議の様子は、J:COMチャンネル中野と中野区議会ホームページで録画中継を観ることができます。